

# 実地調査 評価項目一覧

1 施設管理		
1-1	施設の清掃等(施設の清潔さ)	〈P. 1〉
1-2	施設・設備の安全性の確保	〈P. 2〉

2 安全対策・事故防止		
2-1	登室、保育中、帰宅時の安全対策と事故対応	〈P. 3〉
2-2	防犯への配慮	〈P. 4〉
2-3	防災への配慮	〈P. 5〉
2-4	各種個人情報の管理及び個人情報保護の取り組み	〈P. 6〉

3 育成支援		
3-1	日常生活の支援	〈P. 7〉
3-2	遊びの支援	〈P. 8〉
3-3	おやつの提供	〈P. 9〉
3-4	配慮を必要とする児童への対応	〈P. 10〉

4 事業運営		
4-1	職員間の保育情報の共有	〈P. 11〉
4-2	家庭（保護者）との連携	〈P. 12〉
4-3	地域・学校との連携	〈P. 13〉
4-4	人材育成の取り組み(研修、運営主体との連携)	〈P. 14〉
4-5	各種法令等の遵守	〈P. 15〉

# 実地調査チェックリスト（1 施設管理）

1 - 1	施設の清掃等（施設の清潔さ）
評価項目	日常清掃や温湿度管理を行い、衛生的な環境を保っている 医薬品や便・嘔吐物処理セットを常備している

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	清掃 ・ 整理 整頓	トイレ、机、床、ロッカーの上（ゴミ箱）を毎日1回は清掃している。		* ゴミ箱の清掃はどのようにしているか/ 3も関連：チェック表はあるか
2		遊具等の物品を使いやすく整理整頓している。		
3		清掃の役割分担が明確化され、いつでも同じ清掃状態が保たれるようチェック表等を使用し見える化している。		* チェック項目は適切か
4	温湿度管理	温湿度計の確認が常時行われ、適切な温湿度管理をしている。		* 温湿度計が見えるところにあるか/ 湿度の記録はあるか（記録は求めない：加 点要素）
5	医薬品 ・ 便・ 嘔吐物 処理 物品	医薬品を常備している。		
6		便・嘔吐物処理セットを常備している。		* どこに常備されているか/足りない物 はないか（資料）
7		医薬品や、便・嘔吐物処理用の物品の数量や使用期限について、定期的な確認をしている。		* 確認時期はいつか/記録はあるか
8	加点項目	その他、常時清潔な状態が保たれるような優れた取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（1 施設管理）

1 - 2	施設・設備の安全性の確保
評価項目	設備の破損や老朽化などを定期的に点検・確認し、事故防止に努めている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	点検 ・ 確認	安全点検を日常的に実施し、チェック表などを用いて状況を適切に把握している。		* チェック表はあるか
2		転倒防止措置などの安全対策を適切に行っている。		
3		1・2の点検状況について、チェック表を回覧するなどして、職員同士で共有している。		* どのように共有しているか
4		点検日、点検内容、点検者等をチェック表等に記録している。		* チェック項目は適切か
5	事故 防止	職員全員が意識徹底するため、交代制で点検するなどの取り組みがある。		
6		安全点検の不備や情報共有の不徹底等による事故が過去5年間発生していない。		* 事故報告書等の確認、聞取り
7	加点 項目	児童が危険に気づいて判断できる等、安全に関する自己管理能力が身に付けられるような指導をしている。		* (例) ワークショップの開催/「こんな時どうするクイズ」大会実施他
8		上記以外で、施設・設備の安全性の確保に関して優れた取り組みがある。		
調査 評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト(2 安全対策・事故防止)

2-1	登室、保育中、帰宅時の安全対策と事故対応
評価項目	緊急時の備え(30分ルールの徹底、対応手順の掲示等)と対応訓練を行っている 情報収集と共有、注意喚起、事例検討等の事故防止を行っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	備え	区が定める30分ルールが全職員に周知され、遵守している。		
2		非常用携帯電話に区や責任者等の連絡先が登録されており、すぐに連絡ができる。		
3		緊急時(事故やケガの発生、児童が登室してこない場合等)に即応できるよう「事故発生時の対応手順」を見やすい場所に掲示している。		* 貼りだし資料を適切な場所に貼りだしているか
4		救急救命講習の受講等、児童の事故やケガの際の、職員の対応能力向上に努めている。		
5	訓練	学童保育マニュアル危機管理編に沿った訓練を行っている。		* 役割分担がされているか
6	事故防止	児童の登室路・帰宅路をはじめ、近隣の安全状況について常に情報収集を行い、職員同士の情報共有や児童・保護者への注意喚起を行っている。		* 学童保育室周辺の危険箇所等を把握しているか
7		学童内外で発生した事故事例を収集・分析し、検討会等を行うなどして、事故防止に努めている。		
8	加点項目	児童が危険に気づいて判断したり、事故に遭遇した際に被害を最小限にする等、安全に関する自己管理能力が身に付けられるような支援を行っている。		* (例) 様々な危険に遭遇した時の対応、防御等のシミュレーションをしている/機会をとらえて話をしている
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト(2 安全対策・事故防止)

2-2	防犯への配慮
評価項目	緊急時の備え（情報収集、関係機関との連携、鍵の管理等）と防犯訓練を行っている いざという時の安全対策（施錠確認、見守り等）を行っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	備え	非常通報装置、学校 110 番、さすまたの使用法や設置場所を職員が適切に把握している。		* さすまた等の使い方を練習したか
2		地域の不審者情報について、Aメールや学校・地域等からの通報等により把握できる体制がある。		* 職員がAメールに登録するなど、地域の不審者情報に常に注意を払っているか
3		施設の鍵が適切に管理されている。		* 鍵の数や保管場所の周知をしているか / 鍵を持ち出すとき、帰すときのダブルチェックは行っているか（記録はあるか）
4	訓練	不審者対応に関する訓練を実施している（防災訓練等他の訓練と合わせて実施した場合も含む）。		* 防犯訓練のパリエーションはあるか
5	安全対策	不審者情報があった時など、複数人で施錠の確認をしている。		
6		学童近隣に不審者情報が出た際に、職員間で情報共有し、施設付近の道路まで出て迎送している。		* 不審者チェックリスト(様式 7)がすぐに出せるか
7	加点項目	訓練の方法に工夫がある。または訓練以外で、日常的に防犯に関して工夫のある取り組みがある。		* (例) 見回り実施
8		職員の防犯能力向上に関する独自の取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト(2 安全対策・事故防止)

2-3	防災への配慮
評価項目	災害時の備え(情報共有・避難場所等の確認)と防災訓練を行っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	備え	年度初めの顔合わせ等の際に、災害時等の情報の共有、避難場所や応援体制等について学校や地域と確認している。		
2		各災害時の避難場所が明確にされており、職員に周知している。		
3		二方向出入口や避難路を確保している。		* 避難路に物が置かれてないか
4	訓練	防災・避難訓練を区の規定(年2回以上)どおり実施している。		* 地震、火災/時間帯等のバリエーションで実施しているか防災・防犯訓練実施報告書で確認
5		訓練に際して事前の計画書および事後の報告書が作成され、次回以降の訓練に生かしている。		* 書類確認(防災・防犯訓練書類)
6	加点項目	防災・避難訓練を区の規定以上、行っている。		
7		訓練の方法に工夫がある。または訓練以外で、日常的に防災に関して工夫のある取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト(2 安全対策・事故防止)

2-4	各種個人情報の管理及び個人情報保護の取り組み
評価項目	個人情報の管理を徹底するなど漏洩の予防に努め、研修等で職員が知識を習得し、個人情報保護の対策を行っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	予防	氏名、生年月日、住所等の個人情報（紙及びデータ）の管理を適切に行っている（保管場所の施錠、外部記憶媒体の管理、PCのパスワードの設定、廃棄方法等）。		* USBの使用はあるか/管理方法は
2		個人情報の漏洩や個人データの紛失事故等が過去5年間発生していない。		* 職員の会話内容、時、場所の注意はできているか
3		職員が守秘義務の遵守について適切に理解し、実践している。		* 個人情報や守秘義務に関する質問に答えてもらい確認
4	研修	職員が個人情報保護に関する区の研修に参加するなど、個人情報保護に関する知識を習得している。		* 毎年度、参加しているか
5	加点項目	その他、個人情報保護に関して優れた取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（3 育成支援）

3-1	日常生活の支援
評価項目	保育目標・計画を保護者に周知、連携して日常支援を行っている 児童の健康管理、生活習慣の定着等を行っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	日常支援	放課後児童クラブ運営指針を職員に周知徹底している。		* いつでも手に取れる状態か
2		学童保育室の保育目標や計画を作成し、入室説明会や保護者会等で保護者に周知している。		* 書類確認(保育目標、計画)
3		児童が学童に通う意味を理解し、自ら進んで学童保育室に通い続けられるよう、日常的に子どもの様子を伝え合うなど保護者と連携して育成支援を行っている。		* 休みがちな児童への対応をどうしているか
4		児童が悩みや相談事も話せるような信頼関係を築いている。		* 意図的な機会を設けているか/取り組みがあるか
5		児童がお互いを尊重し協力しあえる関係となるよう援助している。		* 意図的な機会を設けているか/取り組みがあるか
6	健康管理	児童一人ひとりの健康状態を、連絡帳や観察、保護者確認等を行い把握している。		* 登室時に一言会話をし、健康状況や様子を観察しているか
7	生活習慣	手洗いやうがい、持ち物の管理や整理整頓、活動に応じた衣服の着脱、あいさつ等の基本的な生活習慣が身に付くよう支援している。		
8		全体に共通する生活時間の区切りをつくり、柔軟に活用して児童が放課後の時間を自己管理できるよう支援している。		* おやつ等の時間を自己管理できているか
9	加点項目	児童の健康管理について優れた取り組みがある。		
10		児童の自己管理や基本的な生活習慣の定着に関して優れた取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（3 育成支援）

3-2	遊びの支援
評価項目	自発的、自主的な遊びを支援している 集団の中で生じる様々な事柄に適切に対応している 行事等の支援を行っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	遊び	児童が意欲を持って活動できるような環境整備や支援をしている。		
2		児童が仲間関係を作りながら、自発的に遊びを作り出すことができるよう、支援をしている。		
3		伝承遊びや地域の文化に触れる体験等、多様な遊びの経験ができるような工夫がある。		
4	集団	遊びや生活の中で生じる意見の対立やけんか等の問題に対して適切に支援している。		
5		児童が宿題・自習等の学習活動を行える環境を整え、必要な支援を行っている。		
6	行事	行事の年間計画を作成し、計画通りに行っている。		
7		行事等の活動で、企画段階から児童の意見を反映させる機会を設けるなど、児童一人ひとりそれぞれの状況に応じて主体的に運営に関わるよう配慮や工夫がある。		* 児童の意見をどうやって取り入れているか
8		屋外行事の際に、事前の下見等で安全確認を行い、館外保育計画書に記載している。		* どこをチェックしているか（公園：遊具、ガラス片等）/館外保育計画書の確認
9	加点項目	上記以外で、遊びの支援に関して優れた取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（3 育成支援）

3-3	おやつ提供
評価項目	食物アレルギー対策を行っている 内容、食育、安全衛生に配慮したおやつ提供を行っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	アレルギー対応	マニュアルに沿った食物アレルギー対応を行っている。		* 書類確認（健康・アレルギー児童状況票）
2		食物アレルギー事故に対応できるよう、応急対応について職員が学んだり、応急訓練を行ったりしている。		* 緊急時対応経過記録がすぐに出せる
3	内容	おやつの提供にあたり、栄養バランスやカロリー計算、帰宅時間を考慮した量の調整など、工夫や配慮をしている。		* 書類確認（業務・育成日誌）/マニュアルに沿ったおやつの提供となっているか
4	食育	栄養バランスや食育等のため、手作りおやつを提供したり、調理体験おやつを行っている。		
5		おやつを通して、食育や、食事のマナーが身に付くような工夫がある。		
6	安全衛生	おやつ時の衛生管理を徹底している。		* 使い捨て手袋の使用/テーブルの消毒/手洗い、うがい
7		児童が落ち着いておやつを楽しめるような環境づくりと取り組みを行っている。		
8	加点項目	その他、食物アレルギー対策に関して、優れた取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（3 育成支援）

3-4	配慮を必要とする児童への対応
評価項目	虐待を疑われる児童、発達支援児等、多様な性的指向・性自認に困難を抱える児童への支援・対応・連携を行なっている 障がい児を受け入れ、保護者と連携した支援をしている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	虐待	虐待が疑われる児童の早期発見に努め、発見した場合は住区推進課に速やかに報告することを全職員に周知している。		* 虐待対応マニュアルがすぐ出せる
2		虐待が疑われる児童についての事例検討会等を行い、児童や保護者への対応について十分な検討を行っている。		
3	発達支援児等	発達支援児等が、孤立したり排除されたりすることが無く、他の児童との生活を通して、共に認め合い、成長できるような保育を行っている。		* 他児にどのように話しているか
4		発達支援児等について、児童対応記録等を活用し、支援や配慮の方法について職員間で協議し、共有している。		* 書類確認（児童対応記録）
5	LGBT	LGBTに配慮した対応をしている。		* グループの分け方や言動等の確認
6	障がい児	障がい児の受け入れについて、学童保育マニュアルに沿って行っている。		* 受け入れ状況の確認
7		障がい児の保護者と入室前・半年後・年度末には面談を行い、保護者の意向を把握するとともに、児童の成長・発達について情報交換を行っている。		
8	研修	配慮を必要とする児童に関する区の研修を職員が受講している。		* 毎年度、参加しているか
9	加点項目	児童虐待や発達支援児等に関する専門機関が行う研修・勉強会に職員が参加するなどして、職員の自己研鑽の機会を設けている。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（4 事業運営）

4-1	職員間の保育情報の共有
評価項目	情報の交換・共有を密に行い、引継ぎ事項等の徹底を図っている 共有した情報をもとに、協議・検討後、対応を統一している

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	情報 交換 ・ 共有	日々のミーティングや業務・育成日誌（必要に応じて職員間の連絡ノート）により、申し送り事項の徹底を図っている。		* 書類確認（業務・育成日誌）
2		職員会議（担当者会議）を定期的（少なくとも月2回）に実施し、職員同士の情報の共有・意見の交換を行っている。		* 毎月開催されているか
3		職員会議（担当者会議）やミーティングの欠席者に対して、記録を作成し、周知している。		* 記録の確認
4		保護者からの要望や苦情について、学童保育マニュアルに沿った記録を取り、共有している。		* 記録の確認
5	協議 検討 ・ 統一 対応	保護者からの要望や苦情の対応について協議・検討を行い、統一された対応を行っている。		* 記録の確認
6		保育の課題について洗い出しを行い、職員同士で課題解決に向けた対策を検討し、実施している。		* チェック項目チェックリストを活用しているか
7		職員同士で共有した保育情報をもとに事例検討会等を行うなど、職員が相互に協力して自己研鑽に努めている。		
8	加点項目	職員同士の情報共有をより密にする優れた取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（４ 事業運営）

4-2	家庭（保護者）との連携
評価項目	入室説明会・保護者会・個人面談、連絡帳、学童だより、日々の情報交換等で保護者との連携を図っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	入室前説明 ・ 保護者会 ・ 個人面談	学童入室前に説明会を行い、保護者に対して学童の利用について丁寧に説明している。		
2		学童入室前に食物アレルギーの有無等必要な情報について、健康・アレルギー児童状況票で確認、追記をしながら保護者と十分な情報交換を行っている。		* 書類確認（健康・アレルギー児童状況票）
3		保護者会を年2回以上行っている。		
4		保護者会の参加率が高い。または保護者が保護者会に参加しやすい取り組み（関心のある話題提供・時間帯の工夫等）を行っている。		
5		個別的な内容を伝えたり、聞いたりする必要がある場合に保護者と個人面談の機会を設けている。		
6	連絡帳	児童の状況について、連絡帳やお迎えの際のやり取り、電話連絡等の手段により、保護者と情報交換を行っている。		* 連絡帳確認
7	学童だより	児童の様子や保育の内容について、学童だより（毎月発行）を通して必要な情報を定期的かつ同時に全ての家庭に伝えている。		* 学童だより確認
8	加点項目	保護者との信頼関係を築くことに努め、保護者が相談しやすい雰囲気づくりを心がけている。		
9		保護者との連携・情報共有に関して、優れた取り組みがある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（４ 事業運営）

4-3	地域・学校との連携
評価項目	情報交換、共有を積極的に図っている 行事等への参加や非常時等の協力体制の取り組みを行っている

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	情報交換・共有	学校の情報（下校時間、授業スケジュール等）を、学校メールやクラス便り等により把握している。		
2		学校と安全面（防犯対策）も含めた情報交換や情報共有をしている。		
3		放課後子ども教室と安全面（防犯対策）も含めた情報交換や情報共有をしている。		
4	交流	地域の町会・自治会等と連携した行事や、地域の方を招いた遊び等の取り組みがある。		
5		地域住民の理解を得ながら、学校や地域施設（公園、図書館、児童館、高齢者施設等）を活用し、児童の交流の場を広げている。		
6	協力体制	事故・犯罪・災害等から児童を守るため、地域住民と連携・協力して児童の安全を確保する取り組みがある。		
7		子どもの病気やケガ、事故等に備えて、日頃から地域の保健医療機関等に学童保育室の概要や生活について伝え、協力を依頼している。		* 連携医療機関はどこか
8	加点項目	学校行事への学童職員の参加や、学童職員と学校職員の交流等により、学校との連携を積極的に図っている。		
9		保育所、幼稚園、高齢者施設等の利用者との交流や、職員同士の交流等、地域の施設との連携・交流がある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（4 事業運営）

4-4	人材育成の取り組み(研修、運営主体との連携)
評価項目	知識の習得・技術の向上を図るため、研修等に参加している

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	研修	区主催の放課後児童支援員資質向上研修に職員が参加している。		* 毎年度、参加しているか
2		研修内容を職場にフィードバックする取り組みがある。		* 記録の確認
3	加点項目	職場内での事例検討会や講習会等を行っている。		* 記録の確認
4		区以外の団体主催の研修にも職員が参加している（国や都、NPO等主催の研修）。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	

# 実地調査チェックリスト（4 事業運営）

4 - 5	各種法令等の遵守
評価項目	職員間で日常的に注意喚起を行い予防に努め、研修等で職員が知識を習得し、法令を遵守している

番号	分類	チェック項目	評価点	備考
1	予防	遵守する法令等を職員に周知している。		
2		法令違反の事例が過去5年間発生していない。		
3		職員間で日常的に法令遵守に関する注意喚起や職場倫理を自覚して職務にあたる取り組みがある。		* 会議等で、事故事例を紹介する、職場倫理を再確認するなどの取り組みをしているか
4	研修	コンプライアンスについて、区等の研修に参加している。		* 毎年度、参加しているか
5	加点項目	その他、コンプライアンスに関して優れた工夫がある。		
調査評価	特記事項		合計	備考
			／ 点	